

編集部企画 — 学会速報 —

12th International Conference on Cachexia, Sarcopenia & Muscle Wasting

会期 2019年12月6～8日

会場 Maritim proArte Hotel Berlin



2019年12月6日よりベルリンにて開催された12th International Conference on Cachexia, Sarcopenia & Muscle Wasting (第12回国際悪液質学会) より招待を受けた「フレイル漢方薬理研究会」代表世話人の乾明夫先生、世話人の矢田俊彦先生、上園保仁先生が、食欲不振悪液質症候群のメカニズムおよび人参養栄湯の作用について講演されました。

ご講演の内容は、メディカルトリビューン (2月6日号) に掲載される予定です。

12月6日 11:00～

演題

Receptor-modified approach on anorexia-cachexia syndrome with an emphasis of ghrelin-neuropeptide Y-orexin hunger system

国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野 分野長

上園 保仁 先生



12月7日 14:30～

演題

Herbal medicine based nutrition

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 漢方薬理学講座 特任教授

乾 明夫 先生



12月8日 8:30～

演題

Neurophysiological basis of anorexia-cachexia syndrome

関西電力医学研究所 統合生理学研究センター長

矢田 俊彦 先生

